

クラブ訪問

216

「全員で課題を乗り越えて」

西中学校バレーボール部

私たち西中学校バレーボール部は、2年生5人、3年生12人の計17人で、平日の朝と放課後、土・日曜日に体育館で活動しています。

練習では、はじめに基本となるトスやサーブ、スパイクなどを行います。その後、試合などで気付いた苦手なプレーを中心に、日々メニューを変えながら練習を行っています。

今の課題は、相手が打ったサーブをレシーブするサーブカットの強化です。正確なサーブカットができなければチームの攻撃の機会にもつながらないので、バレーボールでは重要なプレーの一つとされています。1カ月前に行われた大会では、サーブカットによるミスが影響し試合に負けてしまいました。そのため、フォームの再確認や、実戦に近い状況を作ってサーブを受けるなど、どんな状況でも対応できるように取り組んでいます。

部の特長はチームワークが良いことです。試合などでミスをしたとしても、すぐにカバーに入ったり、声を掛けたりするなど、メンバー同士でフォローし合えます。また、練習でも自分たちのプレーをどうしたら改善できるか、本音で話し合うことができています。

今後は、印旛郡市総合体育大会のシードを取るため、気を引き締めて練習に励んでいきます。



ひまり
木村 向日葵 部長(3年生)

チームメートがミスをしたときすぐに気持ちを切り替えられるように、積極的なコミュニケーションを心掛けています。



タイミングを合わせて



タオルを落とさないようにレシーブ

なかまと一緒に

「和の音色を味わう」

213

わおん

私たち「わおん」は、毎月第2・4木曜日に八生公民館で箏の経験者が集まって演奏を楽しんでいるサークルです。

箏には低い音が出る17弦の物などがありますが、私たちは最も一般的な13弦の物を使用しています。演奏する際は右手の親指・人差し指・中指に専用の爪をはめて弦を弾きます。中指を手前に向けて、隣り合った2本の弦をほとんど



みんな箏が大好きです

同時に弾く「かき手」や、弾いた後に左手で弦を突くように押さえてすぐに放す「つきいろ」など、さまざまな弾き方があります。うまくなるためには反復練習あるのみです。

箏の魅力は、なんといってもその音色。聴くだけで心が和み心地良く感じるその音色は、まさに「和」と言うにふさわしく日本人に合う音だと感じています。また

演奏パートが分かれている曲が多いので、合奏することで、一人の演奏では表現できない壮大な音色を生み出すことができます。

日頃の練習の成果は、市内の介護施設などで披露しています。演奏するのは、皆さんになじみのある曲や、昔から箏で演奏されている伝統的な曲などさまざまです。両方演奏することで、箏の音色を気軽に楽しんでもらうとともに、味わい深さを知ってもらうことができます。聴いてくれている人が演奏に合わせてリズムを取ったり、歌ったりして楽しんでいる様子が見えると、とてもうれしいです。

これからも、日本伝統の楽器である箏の音色を味わいながら、元気に活動を続けていきたいです。



あの名曲も箏用にアレンジ



慣れた手つきで演奏

スクスクのびのび

475



しいな ふみか
椎名 史佳ちゃん(2歳)公津の杜

健やかに育ててください。



あおの さなと
青野 真士くん(4カ月)猿山

元気に大きく育ててね!



いけだ なお
池田 直央くん(6カ月)江井須

寝返りができるようになりました。元気に大きく育ててね。

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度コメントを郵送またはEメールで広報課へ

○応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)

○問い合わせ 広報課 ☎20-1503